教科・科目	対象学科・学年	単位数	教　科　書	使　用　教　材
国語・現代の国語	普通科・１年	2	高等学校現代の国語（第一学習社）	新訂総合国語便覧（第一学習社） 書いて覚える漢字練習ノート二訂版（京都書房） 現代の国語学習課題集（第一学習社）
科目の概要と目標	・生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。 ・「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。			

月	単元	学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4・5・6・7	表現編 話して伝える	「話し方の工夫」「待遇表現」など	・相手・目的・場面を考慮した表現方法を理解している。	・学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に表現しようとしている。【話す・聞く】	・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。
	理解編１ 理解編２	「『生きもの』として生きる」「『本当の自分』幻想」「水の東西」「ものとことば」	・常用漢字を文の中で活用している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、論理の展開を的確に捉え、内容を解釈している。【読む】 ・本文の主題や論理構成を踏まえて自分の意見や考えを論述している。【書く】	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。
	論理分析	「『間』の感覚」「日本語は世界をこのように捉える」	・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。【読む】	・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。
	理解編１	「羅生門」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・修辞を理解している。 ・読書の意義を理解している。	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述している。【書く】	・自分の意見や考えを論述するために、文章構成や論理の展開の仕方を捉えようとしている。 ・内容の解釈を踏まえて表現の仕方を工夫して書こうとしている。
	理解編２	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・修辞を理解している。 ・読書の意義を理解している。	・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、根拠の示し方を工夫して自分の意見や考えを論述している。【書く】	・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。
9・10・11・12	理解編３ 理解編４	「無彩の色」「『文化』としての科学」「現代の『世論調査』」「フェアな競争」	・常用漢字を文の中で活用している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。	・主題について文章構成をもとに把握し、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈している。【読む】 ・自分の考えなどが的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫している。【話す・聞く】	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。
	論理分析	「『私作り』とプライバシー」「AI は哲学できるか」	・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。【読む】	・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。
	理解編３	「夢十夜」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・修辞を理解している。 ・読書の意義を理解している。	・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述している。【書く】	・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。
	理解編４	「鏡」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・比喩などの修辞を理解している。	・恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解くなどして、自分の意見や考えを伝えている。【話す・聞く】	・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。
1・2・3	理解編５	「不均衡な時間」「ロビンソン的人間と自然」	・常用漢字を文の中で活用している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。	・文章に含まれている情報を相互に関係づけて解釈し、構成や論理展開を的確に捉え、要旨を把握している。【読む】	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。
	論理分析	「デザインの本意」「『動機の語彙論』という視点」	・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。【読む】	・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。
	理解編５	「城の崎にて」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・比喩などの修辞を理解している。	・構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めるなどして、自分の意見や考えを論述している。【書く】	・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。
	理解編６	「法律の改正に関わる文章を読み比べる」「日本の労働問題に資料を読み比べる」など	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用している。	・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解している。【読む】 ・読み手からの助言を踏まえて、目的に応じて書いたり話したりする方法を修正している。【書く】【話す・聞く】	・理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教　科　書	使　用　教　材
国語・現代の国語	工業科 商業科・ １学年	2	新編　現代の国語（数研出版）	新編現代の国語　準拠ワーク（数研出版） 新訂総合国語便覧（第一学習社） 書いて覚える漢字練習ノート　二訂版　（京都書房）
科目の概要と目標	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって事自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

月	単　元	学　習　内　容	評価方法		
			知識 技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	書き手の意図をつかむ 書き言葉の技術	・目指す世界の地図を作る ・ものづくり ・(文章トレーニング 1) 文章構造を理解する	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
5	文章の展開を把握する	・時間とは何か ・地球を旅する水の話	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・筆者の考えを粘り強く理解し、適切な表現を用いて、学習課題に沿って論理的にまとめようとしている。
6	話し葉の技術 対比を読み取る	・(適切に話す・聞く) スピーチ ・水の東西 ・(文章トレーニング２) 要約する	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「書くこと」において、論理の展開に注意して、簡潔かつ適切に情報をまとめることができている。	・相手に伝わるスピーチのしかたについて粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に話したり聞いたりしようとしている。 ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
7	対比を読み取る 日常の中の文章	・里山物語 ・写真を文章で説明する	・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	・筆者の主張を粘り強く読み解いて自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 ・課題資料が示す内容を積極的に読み取り、読み手に伝わりやすい表現を工夫して、学習課題に沿って説明しようとしている。
9	言葉の働きをとらえる	・語感トレーニング	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。
10	コミュニケーションと言葉	・世間話はなぜするか ・非言語コミュニケーション	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。	・具体的な事例について筆者の主張をもとに粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
11	書き手の考えを比較する	・科学と非化学 ・(探究の扉) 科学的とはどういう意味か。 ・(文章トレーニング３) 比較する	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「書くこと」において、比較の目的・対象・結論が分かるように工夫して書く。	・筆者の意見を踏まえて積極的に具体的な事例を考え、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。
12	言葉の働きをとらえる	・コインは円形か	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。	・筆者の意見や【例】を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。
1	日常の中の文章 話し葉の技術	・広告コピーを書く ・(話し合いの方法) ディベート・討議	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・推論の仕方を理解し使っている。	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的に応じて、結論の出し方を工夫している。	・課題資料を参考にしながら、伝わりやすい形式・表現を積極的に工夫し、学習課題に沿って適切に広告コピーを作成しようとしている。 ・ディベートにおける論理の一貫性について進んで検討しようとしている。また、ディベートを踏まえて、自分の考え方について振り返り、積極的に話し合おうとしている。
2	根拠を読み取る	・「差」という情報 ・「わらしべ長者」の経済学	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・筆者の意見を踏まえて積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
3	社会の中の文章	・グラフをもとに話し合う	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	課・題資料を参考にしながら積極的に調査を行い、学習課題に沿って適切に資料を作成しようとしている。

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教　科　書	使　用　教　材
国語・言語文化	普通科・１学年	3	高等学校　言語文化（第一学習社）	高等学校　言語文化　学習課題集（第一学習社） 新訂総合国語便覧（第一学習社） 三訂版完全傍訳やさしくくわしい古典文法（尚文出版）
科目の概要と目標	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

月	単　元	学　習　内　容	評価方法		
			知識 技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	古文入門	・児のそら寝 ・絵仏師良秀 ・なよ竹のかぐや姫	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。
5	漢文入門	・訓読に親しむ（一） ・訓読に親しむ（二）	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。
6	故事成語	・漁夫之利 ・狐借虎威 ・蛇足	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。
7	歌物語	・東下り ・筒井筒	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などに理解を深めている。	・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。
9	近現代の詩歌	・その子二十 ・こころの帆	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。
１０	随筆（一）	・枕草子	・時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。
１１	史伝	・先従隗始 ・臥薪嘗胆	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。	・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。
１２	近現代の詩歌	・甃のうへ ・一つのメルヘン ・自分の感受性くらい ・I was born	我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「書くこと」において、折句を用いて自身の心情を詠む短歌を作ることができる。	・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。
1	随筆（二）	・徒然草	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。
2	漢詩 軍記物語	・漢詩の世界 ・平家物語	・表現の技法とその効果について理解している。 ・和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。
3	思想 古典の詩歌	・論語 ・奥の細道	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めている。	・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするところを粘り強く説明しようとしている。 ・俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教　科　書	使　用　教　材
国語・言語文化	普通科・１学年（体育コース）	2	高等学校　言語文化（第一学習社）	高等学校　言語文化　学習課題集（第一学習社） 新訂総合国語便覧（第一学習社） 三訂版完全傍訳やさしくくわしい古典文法（尚文出版）

科目の概要と目標	
	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

月	単　元	学　習　内　容	評価方法		
			知識 技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	古文入門	・児のそら寝 ・絵仏師良秀 ・なよ竹のかぐや姫	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。
5	漢文入門	・訓読に親しむ（一） ・訓読に親しむ（二）	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。
6	故事成語	・漁夫之利 ・狐借虎威	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。
7	歌物語	・東下り ・筒井筒	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的･文化的背景などに理解を深めている。	・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。
9	近現代の詩歌	・その子二十 ・こころの帆	・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。
１０	随筆（一）	・枕草子	・時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。
１１	史伝	・先従隗始 ・臥薪嘗胆	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。	・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。
１２	近現代の詩歌	・甃のうへ ・一つのメルヘン ・自分の感受性くらい ・I was born	我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「書くこと」において、折句を用いて自身の心情を詠む短歌を作ることができる。	・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。
1	随筆（二）	・徒然草	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。	・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・本文中に表れた作者の批判・教訓･感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。
2	漢詩	・漢詩の世界	・表現の技法とその効果について理解している。	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。
3	軍記物語	・平家物語	・和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。

教科・科目	対象学科・学年	単位数	教　科　書	使　用　教　材
国語・言語文化	工業科 商業科 ・１年	２	新編　言語文化（数研出版）	新編言語文化　準拠ワーク（数研出版） 新訂総合国語便覧（第一学習社） ビギナーズ古典（尚文出版）
科目の概要と目標	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

月	単　元	学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	古文編 古文の世界を楽しむ	『宇治拾遺物語』	・文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。	・積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。
5	漢文編 日本語の中に生きる漢文	「訓読のきまり」 「格言」	・漢文訓読の基礎を理解している。	なし	・漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。
6	近現代編 地域の「ことば」 「ことば」を吟味する 受け継がれる古典	「とんかつ」 「舟を編む」 「羅生門」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・比喩などの修辞を理解している。 ・読書の意義と効用を理解している。	・効果的な表現や難解な語句に留意し、話の展開や主題を読み取っている。 ・描かれた場面の状況から登場人物の心情を理解している。	・自分の意見や考えを論述するために、文章構成や論理の展開の仕方を捉えようとしている。 ・内容の解釈を踏まえて下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。
7	古文編 和歌が作り出す世界 近現代編 詩歌を味わう	『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 「六月」「サーカス」「短歌」 「俳句」	・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・修辞技法を理解する。	・和歌や詩歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉えている。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 ・短歌で詠まれる情景や心情の鑑賞文を書くことができる。	・修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・学習内容を生かして意欲的に和歌や詩歌の制作に努めている。
9	古文編 現代にも生きる教え 近現代編 語感を磨く	『徒然草』 「側転と三夏」	・文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	・作者の批判的精神が提示する事柄を読み解いている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。	・随筆の内容や構成などを把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取ろうとしている。
１０	漢文編 故事と成語	「助長」「漁夫の利」「虎の威を借る狐」「管鮑の交わり」	・漢文訓読の基礎を理解している。	・故事成語のもとになった話の内容を捉えた上で、故事成語の現在使われている意味について理解している。	・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。
１１	古文編 昔と変わらない人の心 近現代編 「ことば」の力	『伊勢物語』 「葉桜と魔笛」	・文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	・話の中で和歌が果たしている役割や歌物語の特徴を理解した上で内容を解釈している。	・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。
１２	漢文編 漢詩を味わう 近現代編 文体の魅力	「中国の漢詩」 「日本の漢詩」 「名人伝」	・作品の歴史的・文化的背景を理解している。 ・漢詩のきまりを理解している。	・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。	・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。
1	古文編 戦時下の人間像	『平家物語』	・文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現を理解している。	・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈している。	・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを深めようとしている。
2	漢文編 論語のことば 近現代編 記録する文学	『論語』 「沖縄の手記から」	・訓読のきまりを理解している。 ・現代との言葉のつながりを理解している。	・孔子のものの見方や考え方を理解している。 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。	・孔子の理想とするところを粘り強く説明しようとしている。
3	古文編 先人を思う旅	『おくのほそ道』	・文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	・作品に表れた作者の思想や心情を捉えている。 ・俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。	・俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。